

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成26年9月18日(2014.9.18)

【公開番号】特開2013-38515(P2013-38515A)

【公開日】平成25年2月21日(2013.2.21)

【年通号数】公開・登録公報2013-009

【出願番号】特願2011-171290(P2011-171290)

【国際特許分類】

H 04 N	1/387	(2006.01)
G 09 C	1/00	(2006.01)
H 04 L	9/08	(2006.01)
H 04 N	7/173	(2011.01)
G 06 F	21/62	(2013.01)

【F I】

H 04 N	1/387	
G 09 C	1/00	6 6 0 D
H 04 L	9/00	6 0 1 E
H 04 L	9/00	6 0 1 A
H 04 N	7/173	6 3 0
G 06 F	12/14	5 4 0 A

【手続補正書】

【提出日】平成26年7月31日(2014.7.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

著作者情報を入力する入力手段と、

前記著作者情報に応じた第1の暗号鍵で暗号化されたコンテンツを前記第1の暗号鍵に  
対応する復号鍵で復号して表示コンテンツとして表示させる表示制御手段と、

前記表示コンテンツに追加コンテンツを追加する追加手段と、

前記表示コンテンツに対する前記追加コンテンツの追加によるコンテンツの変化量を算  
出する算出手段と、

前記算出手段により算出された前記変化量に応じて、前記追加コンテンツを変更する変  
更手段と、

前記表示コンテンツの復号に用いられた前記復号鍵に対応する前記著作者情報と、前記  
追加コンテンツに対応する著作者情報として前記入力手段により入力された著作者情報と  
に応じて、前記表示コンテンツを暗号化するための前記第1の暗号鍵と異なる第2の暗号  
鍵で前記変更手段により変更された前記追加コンテンツを暗号化する暗号化手段とを有す  
ることを特徴とする情報処理装置。

【請求項2】

コンテンツと前記コンテンツの利用を許可する利用者情報を対応づけて保持する保持  
手段と、

前記保持手段に保持された情報を用いて、前記表示コンテンツと前記追加コンテンツと

のうち、前記利用者情報による利用が許可されているコンテンツを判定する判定手段と、

前記判定手段により利用が許可されていると判定されたコンテンツを、前記コンテン

に対応する著作者情報に応じた復号鍵で復号する復号手段とを更に有することを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項3】

コンテンツの表示画面を撮像する撮像手段を更に有し、  
前記暗号化手段は、前記撮像手段による前記表示画面に対する第1の撮像で得られる第1の撮像画像内に存在せず、前記撮像手段による前記表示画面に対する第2の撮像で得られる第2の撮像画像内に存在する前記追加コンテンツを、前記第2の撮像に応じて前記入力手段により入力された前記著作者情報に応じた前記第2の暗号鍵で暗号化することを特徴とする請求項1又は2に記載の情報処理装置。

【請求項4】

前記変更手段は、前記算出手段により算出された前記変化量が閾値以上である場合、前記追加コンテンツを変更することを特徴とする請求項1乃至3の何れか1項に記載の情報処理装置。

【請求項5】

前記追加コンテンツを追加する著作者情報とは対応する著作者情報が異なる引用データが、前記追加コンテンツとして追加された場合、前記算出手段は、前記コンテンツの表示画面のサイズに対して前記引用データが占める割合を算出し、

前記変更手段は、前記算出手段により算出された割合が所定割合以上である場合、前記引用データを削除又は縮小することを特徴とする請求項1乃至4の何れか1項に記載の情報処理装置。

【請求項6】

前記表示コンテンツの内容を変更する編集手段を更に有し、  
前記算出手段は、前記編集手段の変更による前記表示コンテンツの変化量を算出し、  
前記変更手段は、前記算出手段により算出された前記変化量に応じて、前記編集手段による変更内容を縮小し、  
前記暗号化手段は、前記変更手段により変更内容が縮小された表示コンテンツを前記第1の著作者情報に応じた前記第1の暗号鍵で暗号化し、前記編集手段による変更に対応する著作者情報として前記入力手段により入力された第3の著作者情報に応じた第3の暗号鍵で暗号化することを特徴とする請求項1乃至5の何れか1項に記載の情報処理装置。

【請求項7】

情報処理装置が行なう情報処理方法であって、  
著作者情報を入力する入力工程と、  
前記著作者情報に応じた第1の暗号鍵で暗号化されたコンテンツを前記第1の暗号鍵に対応する復号鍵で復号して表示コンテンツとして表示させる表示制御工程と、  
前記表示コンテンツに追加コンテンツを追加する追加工程と、  
前記表示コンテンツに対する前記追加コンテンツの追加によるコンテンツの変化量を算出する算出工程と、  
前記算出工程により算出された前記変化量に応じて、前記追加コンテンツを変更する変更工程と、  
前記表示コンテンツの復号に用いられた前記復号鍵に対応する前記著作者情報と、前記追加コンテンツに対応する著作者情報として前記入力工程により入力された著作者情報とに応じて、前記表示コンテンツを暗号化するための前記第1の暗号鍵と異なる第2の暗号鍵で前記変更工程により変更された前記追加コンテンツを暗号化する暗号化工程とを含むことを特徴とする情報処理方法。

【請求項8】

コンテンツと前記コンテンツの利用を許可する利用者情報を対応づけてメモリに保持させる保持工程と、  
前記メモリに保持された情報を用いて、前記表示コンテンツと前記追加コンテンツとのうち、前記利用者情報による利用が許可されているコンテンツを判定する判定工程と、  
前記判定工程により利用が許可されていると判定されたコンテンツを、前記コンテンツ

に対応する著作者情報に応じた復号鍵で復号する復号工程とを更に含むことを特徴とする  
請求項 7 に記載の情報処理方法。

**【請求項 9】**

前記情報処理装置の撮像手段が、コンテンツの表示画面を撮像する撮像工程を更に含み

、前記暗号化工程では、前記撮像手段による前記表示画面に対する第1の撮像で得られる  
第1の撮像画像内に存在せず、前記撮像手段による前記表示画面に対する第2の撮像で得  
られる第2の撮像画像内に存在する前記追加コンテンツを、前記第2の撮像に応じて前記  
入力工程により入力された前記著作者情報に応じた前記第2の暗号鍵で暗号化することを  
特徴とする請求項 7 又は 8 に記載の情報処理方法。

**【請求項 10】**

コンピュータを請求項 1 乃至 6 の何れか 1 項に記載の情報処理装置の各手段として機能  
させるためのプログラム。

**【手続補正 2】**

**【補正対象書類名】**明細書

**【補正対象項目名】**0007

**【補正方法】**変更

**【補正の内容】**

**【0007】**

本発明の情報処理装置は、著作者情報を入力する入力手段と、前記著作者情報に応じた  
第1の暗号鍵で暗号化されたコンテンツを前記第1の暗号鍵に対応する復号鍵で復号して  
表示コンテンツとして表示させる表示制御手段と、前記表示コンテンツに追加コンテンツ  
を追加する追加手段と、前記表示コンテンツに対する前記追加コンテンツの追加によるコ  
ンテンツの変化量を算出する算出手段と、前記算出手段により算出された前記変化量に応  
じて、前記追加コンテンツを変更する変更手段と、前記表示コンテンツの復号に用いられ  
た前記復号鍵に対応する前記著作者情報と、前記追加コンテンツに対応する著作者情報と  
して前記入力手段により入力された著作者情報とに応じて、前記表示コンテンツを暗号化  
するための前記第1の暗号鍵と異なる第2の暗号鍵で前記変更手段により変更された前記  
追加コンテンツを暗号化する暗号化手段とを有することを特徴とする。